

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドホープ中泉		
○保護者評価実施期間	2026/1/24		2026/2/7
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026/1/24		2026/2/7
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/19		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されている。 放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	学校や保護者、本人の意見をなるべくリアルタイムで聞き取れるように、送迎時や来所時にヒアリングをできるだけ行っている。 各項目を網羅することで包括的な支援になるように心がけている。 外部機関と連携協力してなるべくいろいろな考え方が入るように心がけている	「認知の歪み→不適切な行動→社会の中で生きづらくなる」 を下記のように変換していく取り組み。 「適切な認知への誘い・トレーニング→素直な認知へ→適切な行動への自発的な移行→社会の中での生きづらさの緩和」
2	保護者への説明等 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができています。 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われている。	指導員が、子ども・保護者に共感をもって接することができるように、必要な情報提供や研修を行っている。	
3	満足度 子どもは安心感をもって通所している。 子どもは通所を楽しみにしている。	多種多様な活動ができるように工夫している	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	公民館等での施設外他児との交流実施や、ペアレントトレーニングの実施していることなどについて、知らないパート職員がいる。パート職員の出勤・退勤時間がそれぞれ異なるためである。	パート職員の出勤・退勤時間がそれぞれ異なるためである。	メモや申し送りで適時対応していることを認知してもらう
2	父母会などの結成などについて、保護者が望んでいるのかいないのか、意見集約が課題	保護者へのヒアリング	アンケートを実施する。
3			